芸　術　文　化

1　芸術・文化振興

○主な事業

①　第43回大分市民音楽祭

平素から音楽活動を行っている団体に発表と鑑賞の機会を提供し潤いと安らぎのある市民生活を実現するために大分市民音楽祭を開催する。

実　施　日　平成30年２月18日（日）
場　　　所　ホルトホール大分　大ホール

昨年度実績

実　施　日　平成29年２月19日（日）
場　　　所　ホルトホール大分　大ホール
出演団体数　19団体
出 演 者 数　361人
入 場 者 数　1,083人

市民音楽祭

②　第24回大分市芸能まわり舞台

芸能活動に取り組む市民に、発表と鑑賞の機会を提供することにより、伝統文化を継承し多様で豊かな文化を創造する市民の育成をめざすとともに参加団体相互の情報交換と親睦を図る。

実　施　日　平成30年２月４日（日）
場　　　所　ホルトホール大分　大ホール

昨年度実績

実　施　日　平成29年２月５日（日）
場　　　所　ホルトホール大分　大ホール
出演団体数　10団体・子ども舞台
入 場 者 数　1,316人

芸能まわり舞台

③　第52回大分市美術展

美術の各分野における市民の創作活動を促進し、発表と鑑賞の機会を提供することによって、多様で豊かな文化を創造する市民の育成をめざす。

会　期　平成30年２月23日(金)～３月25日(日)
場　所　大分市美術館

昨年度（平成28年度）実績

会　期　平成29年３月３日(金)～３月26日(日)
場　所　大分市美術館
出品数　420点

市美展

２ 文 化 財

⑴ 平成29年度文化財主要事業計画

文化財は、郷土の先人たちが営々として築き上げ、また守り育ててきた貴重な文化遺産である。私たちは身近な郷土の文化財をとおして、先人たちの優れた生きざまを学びとり、あるいは環境の巧みな利用法に接して、私たちの生活文化をより豊かなものにすることができる。その保護・保存と活用は、先人への敬愛の念と自然への畏敬の態度を養う原点でもあり、そして子孫への継承は、私たちの負うべき責務の一つでもある。

本市では、文化財保護法の主旨に則り、文化財の保護・保存と活用を図るために調査・保存・指定・管理・公開等の事業を推進しながら「文化財を活かした」都市づくりを展開している。

① 埋蔵文化財発掘調査

道路整備、公園整備、宅地造成、住宅建設など公共・民間の各種開発等に伴う事前審査や発掘調査を実施し、遺跡の確認、記録保存、現状保存等の措置を講じている。また、史跡の範囲・内容を確認する調査も計画的に行っている。

埋蔵文化財にかかる平成29年度の調査計画は次の表のとおりである。

	遺跡名・次数	時　代
1	大友氏館36次	戦国
2	大友氏遺跡35次	戦国
3	中世大友府内町跡126次	戦国
4	中世大友府内町跡127次	戦国
5	中世大友府内町跡	戦国
6	中世大友府内町跡	戦国
7	中世大友府内町跡	戦国
8	城原・里遺跡	古代
9	城原Ｃ遺跡	弥生
10	府内城・城下町跡（予備調査）	近世
11	府内城・城下町跡	近世
12	野津原御茶屋	中世〜近世

② 文化財保存整備事業

ア 国指定史跡「大分元町石仏」保存整備事業
事業者　　大分市
大分元町石仏の環境調査、および劣化対策である和紙による脱塩処理を継続し、平成27年度に実施した石仏覆屋改修後の環境モニタリングを行い、石仏の早期「安定化」をめざす。

イ 県指定史跡府内城宗門櫓修復公開活用事業
事業者　　大分市
傷みが進行している宗門櫓を半解体修理し、公開・活用することをめざす。
平成29年度は半解体修理工事の予定。

ウ 県指定有形文化財十一面観音菩薩立像保存修理事業
事業者　宗教法人臨済寺
県文化財保護審議会での意見を踏まえ、所有者と協議し、修理方法を見直した。平成28年度に修理に着手し、平成29年度末までかけて修理する予定である。

エ 市選択無形民俗文化財羽田神楽伝承基盤整備事業
事業者　大分社羽田神楽
浅草流の様式回帰を目的とし用具整備を行う。

③ 各種委員会の開催

ア 大分市文化財保護審議会
大分市文化財保護審議会条例により設置。文化財の指定、保存及び活用に関する重要事項について調査、審議することを目的とする。
第１回　平成29年５月26日（金）開催
第２回　平成30年２月開催予定

イ 高崎山管理委員会
国指定天然記念物「高崎山のサル生息地」の適正管理を行い、高崎山全体のより適正な保存管理運営を行うことを目的とする。
平成29年７月３日（月）開催

ウ 大分元町石仏保存整備委員会
大分元町石仏の塩類風化への対策とその手法の検討を行う。
第１回　平成29年７月開催予定
第２回　平成30年１月開催予定

エ 史跡大友氏遺跡整備検討委員会
国指定史跡である大友氏遺跡を大友氏遺跡歴史公園として適切に整備し、効果的な活用方法を検討する。
２回開催予定

オ 大友氏館跡庭園整備検討委員会
庭園及びそれに関わる遺構の復元整備や設備、公開活用に必要な諸施設等について検討する。
３回開催予定

カ 府内城宗門櫓保存修理検討委員会
府内城宗門櫓の修理を進めるため、修理の方法等について協議する。
第１回　平成29年６月22日（金）開催
第２回　平成29年12月頃開催予定

キ おおいた地域伝統文化応援事業選考委員会
大分市内に守り伝えられてきた伝統文化の継承・再興及び発展を通じ、世代間の交流の増進や地域の活性化を図ることを目的とする。
平成29年５月22日（月）開催

④　普及・愛護の啓発活動

ア　大友氏遺跡情報発信事業

(ア)　ＦＵＮＡＩジュニア検定

郷土に対する理解と愛着を深めるため、小中学生を対象に歴史検定を実施する。今回は大友宗麟副読本から出題し、成績上位者は表彰する。また、合格者のうち希望者を大友氏遺跡等のジュニアガイド（仮称）として養成する。（７月29日開催）

(イ)　大友宗麟副読本

平成25年度に作成した大友宗麟副読本を平成29年度も継続して配布する。昨年までは市内の小学６年生（59校）に配布し、授業に活用していたが、今年度はＦＵＮＡＩジュニア検定へ向けて市内中学１年生にも配布を行う（５月末配布）。

(ウ)　大友氏遺跡フェスタ2017

今年は戸次川の戦いから430年となる節目の年であることから、戸次川の戦いにフォーカスを当てて大友氏に関連する情報発信を行う。秋に宗麟公まつりや歴史講座、ＪＲと連携したウォーキング、鶴賀城に登る体験イベント等を実施する。

イ　文化財防火デー

昭和24年１月26日に法隆寺金堂壁画が焼損したため、この日を文化財防火デーと定め、文化財防火訓練を展開し、文化財愛護思想の高揚を図る。

実施予定日　平成30年１月26日（金）

予定箇所　大分市指定有形文化財

霊山寺山門（予定）

⑵　平成28年度指定文化財

①　大友氏遺跡追加指定

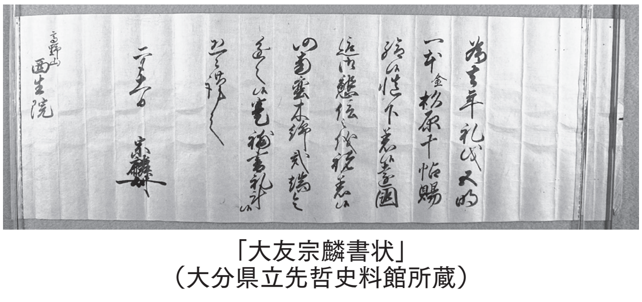
平成28年度は大友氏館跡の一部と大友氏の対外貿易に主体的に関わった外国人の活動拠点である「唐人町跡」の範囲の一部について追加指定された。

②　大分県指定有形文化財指定

指定日　平成29年３月７日

所有者　大分県

ア　「高野山本覚院文書」（1946点）中世～近代



「大友宗麟書状」
（大分県立先哲史料館所蔵）

イ　「中世大友府内町跡出土キリシタン関係遺物」（37点）　戦国時代

「ヴェロニカメダイ」
（大分県立埋蔵文化財センター所蔵）

ウ　「東田室遺跡出土絵画土器」（１点）
古墳時代中期前半

「東田室遺跡出土絵画土器」
（大分県立埋蔵文化財センター所蔵）

エ　「一方平Ｉ遺跡出土石器群」（62点）
旧石器時代後期

「接合資料」
（大分県立埋蔵文化財センター所蔵）

③　大分市指定有形文化財指定

指定日　平成29年３月９日

ア　「立小野区有文書」（一括76点）
江戸時代～昭和
所有者　立小野区

「傘連判状」

イ　「木造五劫思惟阿弥陀如来坐像」（１躯）
室町時代
所有者　片島下区

「木造五劫思惟阿弥陀如来坐像」

(3)　収蔵・公開施設

施設名	毛利空桑遺品館
所在地	〒870－0101 大分市鶴崎381番地の１
電　話	097－521－4893
休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） ただし毎月第１月曜日は開館し翌日休館 年末年始（12/28～１/４）
概　要	鶴崎在住の肥後藩士。儒者、教育家として家塾知来館・郷校成美館などで子弟を教育し、また勤皇家としても活動した毛利空桑の偉業をしのぶため、彼の遺品を収蔵、展示したものである。居宅天勝堂と知来館に隣接する。昭和60年改築。

平成28年度入館者数

大　人	5,934人
小　人	403人
合　計	6,337人

施設名	池見家住宅
所在地	〒870－0315 大分市大字佐野　佐野植物公園内
電　話	なし（問合せは文化財課へ）
休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） 年末年始（12/28～１/３）
概　要	江戸時代、原村・久土村を統轄する臼杵藩丹生原組の庄屋を勤めた池見家の邸宅で、市内では最古の民家として歴史的な価値を持つものであり、また、普通の民家とは違って庄屋住宅としての構造をよく伝えた建物で、建築史の上からも注目される。平成３年佐野植物公園内に移築復元。

平成28年度入館者数

大　人	5,436人
小　人	2,740人
合　計	8,176人

施設名	海部古墳資料館		
所在地	〒870－0303 大分市大字里646番地の１		
電　話	097－524－2300	FAX	097－524－2301
休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） ただし毎月第１月曜日は開館し翌日休館 年末年始（12/28～１/４）		
概　要	国指定史跡「亀塚古墳」のガイダンス施設として広く古墳文化を案内する施設。展示室には、実物資料や複製品のほか、大型ジオラマ、市内の古墳復元模型を展示し、楽しみながら学べる資料館です。 平成12年４月開館。		

平成28年度入館者数

団　体	4,030人
個　人	15,175人
合　計	19,205人

施設名	大友氏遺跡体験学習館		
所在地	〒870－0843 大分市大字大分4257番地の１		
電　話	097－544－5011	FAX	097－544－5011
休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） ただし毎月第１月曜日は開館し翌日休館 祝日の翌日（土・日曜日の場合開館） 年末年始（12/28～１/４）		
概　要	国指定史跡「大友氏遺跡」の内容と発掘調査への理解を深めてもらうために、設置した施設。調べ学習の資料や、体験学習のメニューを揃え、研修室では、40名が活動を行える。平成20年４月開館。		

平成28年度入館者数

団　体	8,403人
個　人	1,849人
合　計	10,252人

施設名	帆足本家酒造蔵		
所在地	〒879－7761 大分市大字中戸次4381番地の１		
電　話	097－597－4649	FAX	097－597－4649
休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） 年末年始（12/28～１/４）		
概　要	江戸時代に日向街道沿いの「在町」として栄えた戸次本町の中心に位置しており、江戸時代の酒造工程を今に伝える蔵やその中に酒造用具が展示されている。（大分市指定文化財）		

平成28年度入館者数

団　体	2,023人
個　人	6,135人
合　計	8,158人

⑷　指定・選択文化財

平成29年４月１日現在

①　国指定

ア　重要文化財

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘　要	参　考
太刀	八幡	柞原八幡宮	昭25.８.29	銘　国宗　長さ　75.8cm	鎌倉時代
太刀	〃	〃	〃	銘　源国(以下一字並年号不明)　長さ 108cm	〃
薙刀直し刀	〃	〃	〃	銘　表「国重八幡大菩薩」裏「天満大自在天神」	鎌倉時代末期～南北朝時代
銅造仏像	〃	〃	〃	社伝　阿弥陀如来立像金剛仏 重さ11.25kg　像高30.3㎝	白鳳時代
木造普賢延命菩薩坐像	〃	大山寺	昭50.６.12	榧材　像高　87.7cm	平安時代
後藤家住宅	杵ヶ原	個人所有	昭50.６.23	18世紀中頃の庄屋の母屋　寄棟造り　茅葺	江戸時代
白壇塗浅葱糸威腹巻 兜・大袖・小具足付	八幡	柞原八幡宮	昭55.６.６	胴高　32.3cm　草摺高　28.5cm 兜鉢高　18.0cm	室町時代末期
木造大日如来坐像	上野丘	金剛宝戒寺	平３.６.21	文保２(1318)康俊作　檜材寄木造 像高　303.8㎝	鎌倉時代
柞原八幡宮文書	八幡	柞原八幡宮	〃	柞原宮領関係史料(213通)　元和７年	平安・鎌倉・南北朝・室町・江戸
帆足家伝来 田能村竹田関係資料	美術館	大分市	平６.６.28	紙本墨画淡彩花卉図外25点	江戸時代
柞原八幡宮	八幡	柞原八幡宮	平23. ６.20	本殿・東宝殿・西宝殿・申殿・拝殿・楼門・東回廊・西回廊・西門・南大門の10棟	江戸～明治

イ　史跡

豊後国分寺跡	国分	大分市	昭８.２.28	国分僧寺　追加指定(昭58.９.８　昭61.５.28)	奈良時代
大分元町石仏	元町	〃	昭９.１.22	日羅または仁聞の作と伝えられる 保存修理　昭46, 52, 53, 61年以降	平安時代
高瀬石仏	高瀬	〃	〃	石窟を彫り込み奥壁に東を向いて彫られる	平安～鎌倉時代
千代丸古墳	宮苑	〃	昭９.５.１	装飾古墳　横穴式石室	古墳時代後期
築山古墳	本神崎	八幡神社	昭11.９.３	前方後円墳　箱式石棺	古墳時代中期
古宮古墳	三芳	大分市	昭58.５.11	石棺式石室墳　九州では他に例なし	終末期古墳(７世紀)
亀塚古墳	里	〃	平８.３.28	前方後円墳　全長約116m	古墳時代中期
大友氏館跡	顕徳	〃	平13.８.13	九州六国を支配した大友宗麟を全盛期とする戦国大名・大友氏の拠点方二町(200m四方)	戦国時代
横尾貝塚	横尾	〃	平21. ２.12	縄文時代の集落の移り変わりが復元できる。縄文時代からの地形と自然がよく残されている。	縄文時代

ウ　天然記念物

柞原八幡宮のクス	八幡	柞原八幡宮	大11.３.８	自生のクス　樹高約30m　幹囲約18.5m	
高崎山のサル生息地	神崎	大分市	昭28.11.14	都市近郊における日本猿の自然的集団	
オオサンショウウオ	神崎	㈱マリーンパレス	昭27.３.29	広島市安佐動物公園より譲渡	特別天然記念物

エ　無形民俗文化財（選択）

鶴崎踊	鶴崎	鶴崎おどり保存会	昭61.12.17	記録保存の措置を講ずべきものとして選択	

オ　登録文化財

大分銀行赤レンガ館（旧二十三銀行本店・旧府内会館）	府内町	㈱大分銀行	平８.12.20	鉄筋コンクリート造２階建　スレート及び瓦棒葺	大正２年(1913)
太田缶詰工場主屋	白木	㈱秀観	平11.６.７	木造２階建　寄棟造　洋風の玄関特徴　接客用 座敷や和室の居住部分と工場事務室併設	明治39年(1908)
太田缶詰工場土蔵	〃	〃	平11.６.７	切妻造の２階建て　外壁漆喰仕上げ	〃
太田缶詰工場石倉	〃	〃	平11.６.７	外壁周りを石造　軒周り漆喰仕上げ 正面左右に２つ出入り口があるのが特徴	大正期
荻本家住宅主屋	坂ノ市	個人所有	平17.７.12	木造平屋建一部二階建　瓦葺 建築面積244㎡	江戸末期
帆足家分家住宅 「松石不老館」主屋	中戸次	個人所有	平17.11.10	入母屋造、桟瓦葺、木造２階建　通り土間をもつ商家建築の形式	明治39年(1908)
帆足家分家住宅 「松石不老館」新座敷	〃	〃	〃	寄棟造、桟瓦葺、木造平屋建　南側に広縁をとり中庭を望む　門及び塀は桟瓦屋根	明治中期
帆足家分家住宅 「松石不老館」道具蔵	〃	〃	〃	切妻造、桟瓦葺、土蔵造２階建　切石積みの上に建つ海鼠壁	〃
帆足家分家住宅 「松石不老館」質蔵	〃	〃	〃	切妻造、桟瓦葺、土蔵造２階建　切石積みの上に建つ海鼠壁　桟瓦屋根の板塀及び門	〃
帆足家分家住宅 「松石不老館」湯殿及び風呂	〃	〃	〃	湯殿を南北棟、風呂を東西棟とし、両棟が接して建つ寄棟及び入母屋の屋根、共に桟瓦葺	〃
帆足家分家住宅 「松石不老館」井戸上屋	〃	〃	〃	切石積みの基壇の上に四方に柱を立て、切妻造、桟瓦葺　切石を長方形の井桁に組む	〃
帆足家分家住宅 「松石不老館」穀物蔵	〃	〃	〃	切妻造、桟瓦葺、土蔵造２階建　引戸口２箇所　全長に吹き放ちの下屋　切石積みの上に建つ	明治22年
帆足家分家住宅 「松石不老館」味噌蔵	〃	〃	〃	切妻造、桟瓦葺、木造平屋建　下屋北側２間半分を壁で囲む　切石積みの上に建つ	〃

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘　　要	参　　考
帆足家分家住宅「松石不老館」裏二階	中戸次	個人所有	平17.11.10	寄棟桟瓦葺木造２階建裏木戸中央に１間幅の観音開きの木戸口	明治中期
帆足家分家住宅「松石不老館」門	〃	〃	〃	間口は2.7m、棟門の形式桟瓦葺、木造両脇に塀を続け、門脇に潜戸を設ける	〃
帆足家分家住宅「松石不老館」塀	〃	〃	〃	切石積みの上に建ち、腰を下見板張り、上部を真壁造、漆喰塗り２箇所格子窓、桟瓦葺屋根	〃
帆足家本家住宅「富春館」主屋	中戸次	個人所有	平18.11.29	木造二階建　一部平屋　入母屋造　桟瓦葺 南側中央式台玄関を設け　西側に一段高い座敷	慶応元年(1865年)
帆足家本家住宅「富春館」宝蔵	〃	〃	〃	土蔵造二階建　切妻造　桟瓦葺　一階２室二階１室 外壁漆喰ぬり腰を海鼠壁	大正期
帆足家本家住宅「富春館」質蔵	〃	〃	〃	土蔵造二階建　切妻造　桟瓦葺　一階２室二階１室 外壁漆喰ぬり腰を海鼠壁	大正５年頃
帆足家本家住宅「富春館」洋館	〃	〃	〃	木造二階建　寄棟造桟瓦葺　南側に洋室 東側に店舗を付属　モルタル壁　石造風	大正５年(1916)
帆足家本家住宅「富春館」離れ	〃	〃	〃	木造平屋建　寄棟造　桟瓦葺　南側に廊下 北側中央に八畳座敷　書院風のつくり	昭和12年(1937)
帆足家本家住宅「富春館」表門	〃	〃	〃	質蔵と洋館の間に建つ　二間幅の棟門　木造 切妻造　桟瓦葺　両脇に袖塀	江戸末期
帆足家本家住宅「富春館」中門	〃	〃	〃	主屋式台玄関の西側　間口一間　木造腕木門 切妻造　桟瓦葺　両脇に袖壁	江戸末期
帆足家本家住宅「富春館」塀	〃	〃	〃	主屋南側の庭の南側と西側を囲い、質蔵北西隅から宝蔵南まで延びる。南東隅に腕木門	大正期
浄土寺本堂	王子西町	浄土寺	平20.10.23	木造平屋建　入母屋造　本瓦葺　大規模な七間堂	嘉永２(1849)
浄土寺庫裏	〃	〃	〃	木造２階建寄棟造妻入桟瓦葺　床つきの座敷・奥座敷	江戸後期・末期改修
浄土寺玄関及び渡廊下	〃	〃	〃	木造平屋建　本堂と庫裏を繋ぐ　入母屋屋根の玄関	江戸末期
浄土寺大弁才天石宮	〃	〃	〃	石造　庫裏の西北　庭園内に建つ　一間社流造	明治44年(1911)
浄土寺一伯公廟	〃	〃	〃	木造平屋建　入母屋造妻入桟瓦葺　松平忠直の墓碑を安置する	江戸後期 大正14・昭和49移築
浄土寺表門	〃	〃	〃	木造　左右袖塀付　本堂正面に建つ四脚門	明治後期 昭和26改修49移築
浄土寺北門	〃	〃	〃	木造　瓦葺　柱上に皿斗を置き、その上に台輪をまわす	大正14年(1925) 昭和49年移築
植木家住宅主屋	王子中町	個人所有	平22．5.20	木造２階建入母屋造　１階に出格子彫刻入持送り 市内中心部に残る数少ない商家	安政元年(1854)頃
植木家住宅離れ	〃	〃	〃	入母屋造桟瓦葺　床・違棚・書院を構え意匠に凝る	昭和４年(1929)
植木家住宅離れ控えの間	〃	〃	〃	庇の意匠が数寄屋風　渡り廊下が付随する	昭和４年(1929)

②　県指定

ア　有形文化財

柞原八幡宮文書附絵図	八幡	柞原八幡宮	昭35．3.22	絵図のみ	江戸時代
八幡宇佐宮御託宣集附裏書	〃	〃	〃	宇佐神宮に関する記録16巻と裏書２からなる 文明２年(1470)	室町時代
詫摩文書	大分市歴史資料館	個人所有	〃	合計11巻　286点の文書 嘉応元年(1169)～慶長16年(1611)	平安時代末期～江戸時代初期
都甲文書	大分県立先哲史料館	個人所有	〃	合計４巻　90通	平安～江戸時代
刀	森	個人所有	昭43．3.29	豊州高田庄　藤原行長　慶長五年	戦国時代
刀	田尻	個人所有	昭40．3．9	銘　貞行　　応永時代	室町時代前半
刀	府内町	個人所有	昭43．3.29	銘　平鎮教　　長さ　81.6㎝	戦国時代(永禄年間)
木造不動明王坐像	上野丘	金剛宝戒寺	昭44．3.22	檜材　寄木造　像高　86.3㎝	平安時代後期
木造不動明王立像	八幡	柞原八幡宮	昭45．3.31	〃　　〃　　像高　78.8㎝	鎌倉時代末期～南北朝時代初期
木造女神形坐像	〃	〃	〃	樟材　一木造　像高　39.5cm	平安時代後期
木造菩薩形坐像	〃	〃	〃	〃　〃　像高　46.6cm	〃
木造祖師形坐像	〃	〃	〃	〃　〃　像高　54.8cm	平安時代末期
板彫多聞天立像	〃	〃	〃	〃　〃　像高　78.4cm	鎌倉時代
板彫不動明王立像	〃	〃	〃	〃　〃　像高　76.9cm	〃
紙本著色由原八幡宮縁起絵巻附極書二通	〃	〃	〃	絵　土佐光茂　詞　青蓮院宮尊鎮法親王	室町時代
紺紙金泥増壱阿含経	〃	〃	〃	11紙　縦34cm、横64.2cm文和４年(1355)に尼法忍により施入	平安時代末期
山水蒔絵縁起絵巻納箱	〃	〃	〃	銘　元和八年中川秀征(岡藩２代藩主)寄進	江戸時代初期
紙本著色厩図六曲屏風一双	上野丘	円寿寺	昭46．3.23	土佐派の画風春隻と秋隻(各)150.0×52.5㎝	江戸時代中期
絹本著色柿本人磨図	〃	〃	〃	土佐信実筆の墨書あり　縦34.5㎝　横37.5㎝	鎌倉時代後期
刀	千代町	個人所有	昭49．3.19	銘　藤原統行 平成16年６月21日所有者変更による	
太刀	羽屋	個人所有	昭51．3.30	銘　豊後国行平　(豊後刀の逸品である)	鎌倉時代
安藤家刀	横尾	個人所有	昭54．5.15	銘　豊州高田住大和大椽藤原貞行 平成16年６月21日所有者変更による	
中間石幢	志津留	共有	昭55．4．8	造立者の墨書銘あり　応永６年(1399)造立	室町時代
万年橋	寒田	西寒多神社	昭55．4．8	文久２年(1862)建造(西寒多神社境内)	江戸時代
金剛宝戒寺木造釈迦如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	昭57．3.30	檜材　寄木造　像高161.6cm	鎌倉時代

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘　　要	参　　考
豊後国諸検地帳	大分県立先哲史料館	大分県	昭57.3.30	文禄２年(1593)７冊　他全82冊 平９年大分県立先哲資料館	安土桃山時代～江戸時代初期
太刀	坂ノ市	個人所有	昭63.3.15	「豊州之住人直宗作　応永十八年□月十五日」銘	室町時代
木造聖徳太子立像	上野丘	金剛宝戒寺	平９.３.25	檜材　寄木造　像高68cm	鎌倉時代後期～南北朝時代
刀	大道町	個人所有	平10.３.20	豊後国高田住藤原實行作	江戸時代
脇差	〃	〃	〃	〃	〃
築山古墳出土品	本神崎	築山古墳保存会	平10.３.20	築山古墳出土品一括	古墳時代
絹本著色阿弥陀如来迎図	森町	専想寺	平11.３.23	１幅	室町時代
木造阿弥陀如来立像	〃	〃	〃	１躯	鎌倉時代
巴形銅器	埋蔵文化財センター	大分県	〃	考古資料	弥生時代
教尊寺（７棟）	本神崎	教尊寺	平11.３.23	本堂・庫裡付玄関・書院・御殿・経蔵・鐘楼・山門 江戸期の伽藍構成　建物の大方が現存	江戸時代
刀	常行	個人所有	平13.４.３	銘　平長盛(豊後刀の作風強く残す)	室町時代
刀	森町	個人所有	平13.４.３	銘文　平長盛 平成19年７月24日　所有者変更で臼杵市より	室町時代
木造聖観音菩薩坐像	八幡	大山寺	平14.３.29	樟材一木造　像高　273.5cm	平安時代
木造十一面観音菩薩立像	永興	臨済寺	〃	桧材　寄木造　像高　170cm 平成18年５月18日所有者変更	〃
早吸日女神社総門	佐賀関	早吸日女神社	平16.３.30	切妻造　本瓦葺	江戸時代
早吸日女神社本殿	〃	〃	〃	三間社流造　檜皮葺	〃
早吸日女神社社家（小野家住宅）	〃	〃	〃	入母屋造　桟瓦葺	〃
長湯横穴墓群第７号墓出土品	埋蔵文化財センター	大分県	平17.３.29	鹿角製刀装具装着鉄刀　他　計28点	古墳時代後期
木造地蔵菩薩立像（愛宕地蔵）	青石	妙蔵寺保存会	平17.３.30	像高81.5㎝、材質檜、寄木造、彫眼、漆箔が施されている	鎌倉時代
絹本著色涅槃図	上野丘	金剛宝戒寺	平18.３.31	縦212.3㎝　横214.5㎝	鎌倉時代
木造聖徳太子二歳立像	勢家	法専寺	平18.３.31	桧材寄木造　玉眼　像高68.2㎝	鎌倉時代
銅造如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	平19.３.30	総高16.3㎝像高15.1㎝銅鋳造製　鍍金あり	飛鳥～白鳳
大志生木宝篋印塔	十谷	西岡神社	平21.３.17	應安六年癸丑六年（1373）の銘。「塔供養」と刻まれている。平成21年大分市指定から県指定へ	南北朝時代
王ノ瀬石棺	大分市海部古墳資料館	共有	平24.３.13	家形石棺　辻古墳の主体部が王ノ瀬石棺だった可能性が高い。	古墳時代中期
先哲史料館稲葉家文書	大分県立先哲史料館	大分県	平26.２.14	臼杵藩主稲葉家に伝えられた文書。	江戸時代
猪野遺跡出土銅矛	歴史資料館	大分市	平28.２.23	弥生中期末から後期初頭にかけて制作されたと思われる中広形銅矛。大分県下唯一の発掘調査による出土品。	弥生時代中期
木造釈迦如来坐像	松岡	長興寺	平28.２.23	鎌倉時代から南北朝時代にかけて、慶派仏師の作と考えられる。	鎌倉時代末期～南北朝時代初期
高野山本覚院文書	大分県立先哲史料館	大分県	平29.３.７	大友氏およびその家臣、近世大名にかかる書簡等1946点の文書が残されている。	中世～近代
一方平Ⅰ遺跡出土石器群	埋蔵文化財センター	大分県	平29.３.７	大分市横尾字一方平から出土した石器群。 石器製作技術の全工程が復元できる資料。	旧石器時代後期
東田室遺跡出土絵画土器	埋蔵文化財センター	大分県	平29.３.７	大分市田室町古墳時代の竪穴住居跡から出土、龍文のひれ部分が描かれた絵画文様。	古墳時代中期前半
中世大友府内町跡出土キリシタン関係遺物	埋蔵文化財センター	大分県	平29.３.７	大分市顕徳町を中心とした中世大友府内町跡出土のメダイ等キリスト教関係資料。	戦国時代(16世紀後半)

イ　史　跡

丑殿古墳	賀来	丑殿神社	昭30.５.28	横穴式石室　家形石棺(昭和47年保存施設)	古墳時代後期
脇蘭室墓	鶴崎	大分市	昭32.３.26	墓碑　表面に高弟帆足萬里による「文教脇先生墓」の六字	江戸時代
楠木生石造五重塔	下戸次	個人所有	昭34.３.20	銘　延文五年(1360)庚子三月十七日	南北朝時代
府内城跡	大手町 荷揚町	大分市	昭38.２.15	石垣、土塀、堀、櫓２、櫓跡１	江戸時代
曲石仏付双塔（五輪塔）・磨崖連碑	曲	共有	昭41.３.23	磨崖仏　石窟内に丸彫りの像や陽刻の像が安置される(昭47年補修)	平安時代末期～室町時代
口戸磨崖仏附磨崖五輪双塔	口戸	個人所有	昭44.３.22	宇佐八幡宮と関連ある磨崖仏	鎌倉時代末期～室町時代
毛利空桑旧宅及び塾跡	鶴崎	大分市	昭45.３.31	空桑私宅「天勝堂」塾「知来館」安政４年(1857)一緒に建設　遺品館に遺品陳列	江戸時代
岩屋寺石仏	古国府	円寿寺	〃	国指定解除物件	鎌倉時代～室町時代
参勤交代道路	今市	大分市	昭47.３.21	幅2.1ｍ　長さ660ｍの石畳	江戸時代
蓬莱山古墳	庄ノ原	共有	昭56.３.31	前方後円墳　全長60ｍ	古墳時代前期
毛利空桑墓	常行	共有	昭62.６.29	墓碑「日本国儒者毛利到墓」と大書　陰刻 昭和36年３月14日指定後地番誤記判明昭和62年６月29日再指定	江戸時代
小牧山古墳群	松岡	大分市	平23.２.29	方墳３　円墳２　前方後円墳１　　保存状態良好	古墳時代

ウ　無形民俗文化財（選択）

賀来神社卯酉の神事	賀来	共有	昭33.３.25	記録保存の措置を講ずべきものとして選択 「賀来の市」	
鶴崎踊	鶴崎	鶴崎おどり保存会	昭56.３.31	記録保存の措置を講ずべきものとして選択	

エ　天然記念物

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘　　要	参　　考
高島のビロウ自生地	高　島	大 分 県	昭30.5.27	１株	
高島のウミネコ営巣地	〃	〃	〃	400羽程度　５月～８月中旬に営巣	

③　市指定

ア　有形文化財

熊野権現縁起絵巻	津　守	熊野神社	昭49.1.9	松平忠直の遺品　全13巻(熊野神社)	江戸時代
神　庫	寒　田	西寒多神社	〃	校倉造　応永15年(1408) 明治19年改修　(西寒多神社境内)	室町時代
鳥　居	王子町	王子神社	〃	寛政８年　(1796)　２月建立(王子神社境内)	江戸時代
刀(大・小)	府内町	個人所有	〃	毛利空桑所持刀　刀　長さ　89.5cm 脇差　長さ　59.0cm	刀　室町時代 脇指　江戸時代
刀	歴史資料館	大 分 市	〃	表銘　豊府家士神弧丸盛利行年七十才作 裏銘　天保９年戊戌２月■日任望角幸安鍛　天保９年(1838)	江戸時代
円寿寺相伝文書及び大友資料	上野丘	円 寿 寺	昭51.8.24	開基道勇置文以下15件内 大友関係資料　１巻12通	鎌倉時代～室町時代
大般若経本附納函	大分県立先哲史料館	〃	〃	寛正４年(1463)　寄進	室町時代
御城下絵図	歴史資料館	大 分 市	昭56.8.1	府内藩主が府内城下から「浜の市」を見物に行く行列を中心に絵巻物仕立てで描いたもの	江戸時代
十一面観音立像	国　分	国 分 寺	〃	桜材　寄木造　像高　106.2cm　藤原仏の特徴	平安時代後期
万寿寺石造国東塔	金　池	万 寿 寺	昭56.8.1	国東地方に発達した宝塔の一種	鎌倉時代
紙本著色隠元・木庵・即非三幅対像附絹本淡彩蘆葉達磨図	田　室	長 福 寺	昭62.3.20	黄檗宗三禅師肖像画と達磨図 寛文元年(1661)製作	江戸時代
波奈之丸屏風(厳島神社図)	歴史資料館	個人所有	平2.7.16	御座船波奈之丸に置かれた屏風	江戸時代前期
熊本藩船鶴崎入港船絵馬	東鶴崎	劔八幡社	平3.3.27	熊本藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 [寛政10年(1798)]	江戸時代
岡藩船三佐入港船絵馬	三　佐	野坂神社	〃	岡藩の参勤交代船の模様を描い絵馬 [文化10年(1813)]	〃
府内藩校遊焉館絵図	歴史資料館	弥栄神社	平6.2.28	遊焉館の学習風景を描いた絵図	江戸時代末期
帆足本家酒造蔵	中戸次	大 分 市	平11.3.23	酒造過程のわかる木造建築物	明治～大正
脇　指	府内町	個人所有	平16.3.31	銘文　表　豊州藤原友行 裏　貞治七年三月日(1368)	南北朝時代
刀	森　町	個人所有	平16.3.31	銘文　表　豊後国高田住次右衛門藤原統行 裏　明暦元年九月吉日(1655)	江戸時代初期
刀	永　興	個人所有	平16.3.31	銘文　表　長谷部國重　相伝の名門の一派 「府内國重」とも呼ばれる	室町時代後期
木造宝冠釈迦如来坐像	太　田	個人所有	平17.3.31	桧材　寄木造　像高68.5cm	南北朝時代
木造毘沙門天立像	恵　良	西 福 寺	〃	桧材　寄木造　像高65cm	江戸時代前半
木造薬師三尊立像	本　町	福 城 寺	〃	桧材　一木彫成	室町時代前半
銅造観音菩薩立像	今　市	安 楽 寺	〃	銅製の像　像高26.2cm　懸仏	鎌倉時代後半
丸山八幡神社楼門	〃	丸山八幡神社	〃	享保５年(1720)入母屋造　３回修理	江戸時代
木造地蔵菩薩立像(愛宕地蔵)	本神崎	八幡神社	〃	像高96.8cm、台高36.5cm、材質檜、寄木造、玉眼入りで彩色が施されている	江戸時代初期
大平文書	大　平	個人所有	〃	数少ない肥後細川藩領の地方文書 近世文書と近代文書に二大別される	江戸時代～明治時代
若林文書・系図	大分県立先哲史料館	個人所有	〃	大友氏の水軍として活躍した若林家の文書。国立歴史民俗博物館所蔵若林文書と兄弟文書である。	戦国時代
早吸日女神社石鳥居	佐賀関	早吸日女神社	平17.9.27	寛永17年(1640)６月の刻銘 熊本藩主細川忠利の寄進	江戸時代初期
早吸日女神社神楽殿	〃	〃	〃	文政10年(1827)以降、元の半分の規模で現在地に移築 大正４年改築切妻造本瓦葺	江戸時代後期
早吸日女神社拝殿	〃	〃	〃	宝暦13年(1763)６月細川重賢建立 嘉永３年(1850)改修　入母屋造本瓦葺	江戸時代中期
熊本藩船佐賀関入港船絵馬	〃	〃	〃	藩主が参勤交代時に座乗する御座船の図で、描写法や画材などから江戸末期の作品	江戸時代末期
西谷橋	大　平	大 分 市	〃	文政７年(1824)甲申３月臼杵大野の石工、新左エ門・友蔵によって構築架橋	江戸時代後期
西福寺宝篋印塔	恵　良	西 福 寺	平17.3.31	宝篋印陀羅尼経を納めた供養塔　総高258.5cm	室町時代
福城寺逆修石幢	本　町	福 城 寺	〃	大永６年(1526)の銘	戦国時代
福城寺宝塔	〃	〃	〃	総高244.5cm	南北朝時代後半
山の川石造宝塔・宝篋印塔	入　蔵	個人所有	〃	どちらも溶結凝灰岩製	室町時代前半
摺石幢	摺	個人所有	〃	総高226cm　八角形	戦国時代
原村石幢	原　村	個人所有	〃	安山岩製　総高269cm	室町時代後半
地福寺宝塔	福　宗	地 福 寺	〃	２基並立　向かって右184cm、左176cm	室町時代中期
地福寺石幢	〃	〃	〃	明和８年(1771)の銘　凝灰岩製	江戸時代中期
永冨家逆修碑(３基)	新　町	個人所有	〃	生前に供養する供養石塔　慶長５年(1600)の銘	安土桃山時代末期
宝泉寺大乗妙典一字一石塔	竹　屋	個人所有	〃	総高215cm　享保12年(1727)の銘	江戸時代
霊山寺山門	岡　川	霊 山 寺	平19.8.12	木造・銅板葺・三間一戸二重門。禅宗様の特徴が表れている。古文書より寛永15年(1638)建築。	江戸時代

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考
常楽寺文書	岡川	常楽寺	平19.8.12	大友松野家系図・大友歴代の記載が豊富少弐頼尚施行状写・毛利輝元書状写・・政治状況	中世・近世
光西寺真宗関係資料	末広町	光西寺	平19.8.12	六字名号・親鸞聖人像・方便法身像・親鸞聖人絵伝　六字名号は蓮如真筆	室町・江戸時代
水分神社銅鉾	横尾	水分神社	平20.12.4	完形品と残欠２個　精巧な鋳上がりで埋納されていた　北部九州で鋳造	弥生時代中期末～弥生時代後期前
伝岩屋遺跡出土銅戈・石戈	歴史資料館	銅戈・大分市 石戈・個人所有	〃	銅戈は、細形銅戈で我が国初期鋳造品 石戈は、遠賀川流域で製作された可能性	弥生時代中期
勝光寺華南三貼花文五耳壺	歴史資料館	勝光寺	平21.12.16	深い光沢のある緑色を基調とした優品	安土桃山時代
大分市内出土　青銅破鏡	歴史資料館埋蔵文化財センター	大分市 大分県	〃	漢鏡	弥生時代後期～後期終末
原田家宝篋印塔	福宗	個人所有	平22.12.17	総高147cm　安山岩製　四方仏の尊影を浮き彫りにしている。	室町時代
大分市内出土　青銅器	歴史資料館	大分市	〃	青銅製ヤリガンナ、小銅鐸	弥生時代中期～後期
「天長九年尼寺」「尼寺」墨書土器３点	歴史資料館	大分市	平23.12.19	豊後国分寺西側より出土。国分尼寺の位置を推定する資料。	平安時代
伝名辺山谷出土銅矛	歴史資料館	大分市	平26.3.11	弥生中期末から後期初頭にかけて北部九州へ制作されたと思われる中広形銅矛。江戸時代に大分市木田の名辺山谷より出土したとされる。	弥生時代中期
木造釈迦如来坐像	永興	臨済寺	平27.7.3	江戸時代初期から中期にかけて活躍した、大坂の仏師宮内法橋の作と考えられる	江戸時代中期
松栄神社所蔵絵図	歴史資料館	松栄神社	平27.12.25	府内城の櫓および府内藩の施設の姿を表した絵図および指図	江戸時代後期
合澤家所蔵文書	中島	個人所有	平27.12.25	戦国時代に佐賀関一尺屋を拠点として活躍した若林水軍に関係する文書	室町時代～明治時代
立小野区有文書	歴史資料館	立小野区	平29.3.9	江戸時代延岡藩領であった立小野村に残され伝えられた文書。隣接する村々との境界紛争を中心とし、「傘連判状」が残されている。	江戸時代～昭和
木造五劫思惟阿弥陀如来坐像	片島	片島下区	平29.3.9	桧材の寄木造で、単純な衣文、ふくよかな童顔をしており、15世紀の作と考えられ、全国的に造像例が少ない。	室町時代

イ　史跡

大友頼泰墓	岡川	常楽寺	昭49.1.9	五輪塔　高さ176cm　大友氏三代　延享元年(1744)以降　平成19年６月４日所有者修正	江戸時代
丹生遺跡	丹生	大分市	〃	昭和37年～42年にかけて、６次にわたって調査	旧石器時代
滝尾百穴横穴古墳群	羽田	共有	〃	横穴古墳群	古墳時代後期
伽藍石仏	永興	個人所有	〃	仏像の配列に特徴あり	鎌倉時代～室町時代
府内城跡	荷揚町	大分市	平7.2.17	県指定部分を除く城地	江戸時代
佐藤家墓地五輪塔群	前田	個人所有	平17.3.31	材質すべて角閃石安山岩　完形41基	戦国時代～江戸時代初期
鶴迫磨崖仏	太田	地福寺	〃	地蔵尊「火防(ひぶせ)の地蔵さま」と呼ばれる	安土桃山時代末期～江戸時代初期
鶴迫磨崖連碑	〃	個人所有	〃	15基の板碑型の碑　永禄２年(1559)の銘	室町時代末期

ウ　無形民俗文化財

柞原太鼓	八幡	保存会	昭54.6.14	柞原八幡宮の放生会「浜の市」に起源をもつ。	
深山流　伊与床神楽	端登	神楽社	平12.6.16	市内唯一の深山流の流れをもち、忠実に古様を伝えている。	
岡倉神楽	下原	神楽社	平18.3.7	勇壮な神楽であり、活発に活動している。また、伝承も計画的に行われている。	明治時代～
二目川百手まつり	横尾	保存会	平25.1.11	毎年１月20日に開催。畳の上にすわって、的に矢を放つ。	江戸時代～

エ　無形文化財

廻栖野の竹細工技術	廻栖野	保持者２名	平23.12.19	長いヒゴを使用した、青物系の竹細工技術。大分県在来の古い技術。	

オ　無形民俗文化財（選択）

羽田神楽	羽田	大分社	平17.9.27	昭和45年創立と新しいが、庄内神楽の流れをくみ伝承に熱心に取り組んでいる（選択）	昭和45年～

カ　有形民俗文化財

鰮網大漁光景図絵馬	佐賀関	早吸日女神社	平17.9.27	明治45年に奉納された漁撈絵馬で当時の鰮網漁の様子が詳細に描かれている	明治時代
漁業図大絵馬	〃	〃	〃	明治35年に奉納された漁撈絵馬で珊瑚樹採取の船団を描写している	明治時代
帆足本家酒造用具一式	中戸次	大分市	〃	多くの酒造用具が残され、それらは伝統的な民具で構成されている(342点)平成19年２月８日大分市へ寄付	江戸時代末期～昭和47年

キ　天然記念物

オオイタサンショウウオおよび生息地	岡川	霊山寺	昭49.1.9	希少種とされている　（霊山寺境内）	
ヤマフジ	寒田	西寒多神社	〃	枝張り　東西約24m、南北約5mの範囲で広がる（西寒多神社境内）	
クスノキ	下戸次	八幡神社	〃	高さ約20m　樹冠の広がり東西約33m南北45m（八幡社境内）	
柞原八幡宮の森	八幡	柞原八幡宮	平2.9.12	自然林の残存林　柞原八幡宮境内林	

３　大分市歴史資料館

大分市大字国分960番地の１
電話　549－0880
FAX　549－5766

(1)　運営方針

市内を中心とした考古、歴史、民俗の各分野にわたる資料を公開展示するとともに、企画展示、テーマ展示、各種の講座・講演会などを通して、広く市民が郷土の歴史を学ぶ場をめざしている。また、学校と連携して各教育課程に適応した歴史学習や体験活動のプログラムを充実させ、職員が学校に出向いて体験活動の指導を行う「出張歴史教室」を推進する。

更に、大友氏関係及び同時代の歴史資料の調査研究と収集を進め、郷土資料の保存・公開をはかり、大分の歴史に関する情報を積極的に発信する。

(2)　施設の概要

昭和62年４月　開館

敷地面積　4380.00㎡　建築面積　1889.60㎡

延床面積　2576.92㎡　展示室面積　690.75㎡

(3)　展　　示

原始から近世までの通史的展示と民俗資料の常設展示をしている。各種の模型やイラスト、年表などを多用し、平易で立体的な展示を行っている。また、テーマ展示室を設け、テーマ毎に順次館蔵品等を公開している。

①　１階ホール

豊後国分寺七重塔復元模型（１／10)、市内の石仏案内。

②　常設展示室

第１展示室　大分のあけぼの、大分の君と古墳の時代、国分寺と律令の時代。

第２展示室　大友宗麟と中世、近世の府内

民俗展示室　明治から昭和にかけての食卓風景を中心に、その時代に使われた生活道具をオープン展示。

③　テーマ展示室

常設展示以外の館蔵資料を中心に年３回テーマに沿って展示。

④　子ども歴史学習コーナー及び自分史・家族史コーナー

子どもたちの調べ学習に利用できる歴史・郷土史の本を設置。さらに、自分史・家族史の展示コーナーを設置。

⑤　豊後国分寺跡の散策

七重塔跡・金堂跡の礎石や、整備された講堂・食堂・回廊・中門跡をめぐり、奈良時代を追体験しながらの散策が楽しめる。

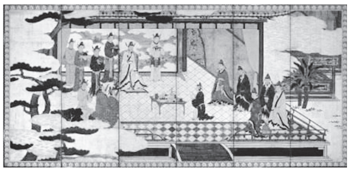
(4)　企　画　展（平成29年度）

①　第36回特別展

「威信の舞台　－よみがえる大友館－」

会期　10月27日（金）～12月４日（月）
（開館日数：34日）

内容　平成10年から始まった大友氏館跡の発掘調査では、外郭に土居や築地などを廻らした200m四方の広大な館跡をはじめ、戦国大名では類例をみない大規模な書院式庭園遺構や、礎石をともなった大型の主殿跡などが発見されている。


伝狩野永徳「帝鑑図屛風」

本展示では、これまでの発掘調査や文献資料の研究成果をもとに、大内氏や三好氏などの他大名の館跡との比較を交えながら、宗麟によって建設された大友館の実像に迫る。

②　テーマ展示（平成29年度）

第１回「子どもたちの天神人形」

会期　４月29日（土）～６月25日（日）

内容　平成28年度に大分市の和田冨成氏から寄贈を受けた郷土玩具コレクションより、土人形・張子人形・土鈴など多岐に渡り、その姿や大きさも様々な天神人形にスポットをあて紹介する。

第２回「資料館で“たのしい”自由研究」

会期　７月22日（土）～９月24日（日）

内容　主に夏休み期間中の小中学生を対象に、７つのテーマを設定。テーマのカギとなる資料や自由研究の進め方を紹介し、観覧者がテーマ展会場を中心に関連の常設展や現地調査箇所を巡りながら、自由研究を進める体験型の展示を行う。

第３回「大分の刀剣」

会期　１月27日（土）～４月２日（月）

内容　刀剣の世界では大分市の高田地域が中世以降の刀剣の一大産地として知られているが、現在に受け継がれていないことなどもあり、この地域の文化「刀剣」に対する関心は高いとは言えない。本展示では、日本美術刀剣保存協会大分支部の協力を得て、豊後刀を含む大分ゆかりの刀剣を紹介する。

③　まちかど歴史展示館

大分の歴史や民俗・文化財を紹介するパネルを中心とした移動展示を行う。

⑸　各種講座（平成29年度）

講　　座　　名	期間（開催日時）		定員	内　　　　容	備考
ふるさとの歴史再発見 ・考古のコース	４月～６月 計５回	原則 第２・第４ 土曜日 午後２時 ～３時30分	70名	大分県内の発掘調査にかかわる報告	有料
ふるさとの歴史再発見 ・歴史のコース	７月～９月 計５回		70名	郷土大分の歴史と人物について	有料
ふるさとの歴史再発見 ・民俗・文化史のコース	11月～12月 計４回		70名	大分の民俗と文化について	有料
ふるさとの歴史再発見 ・古文書のコース	１月～３月 計５回		70名	中・近世文書の解読	有料
ふれあい歴史体験講座（親子と一般）	原則毎月第１・３土曜日 午前９時30分～と 午後２時～　　の２回		各70名	管玉丸玉作り/土笛作り/勾玉作り/粘土埴輪作り/和凧作り/土偶作り/土の鈴作り/かご編み/土面作り/折り紙雛作り/織り物	有料
				火起し	無料
昔のおもちゃで遊ぼう（親子と一般）	５月５日（金）こどもの日 午前９時～午後４時		なし	資料館隣の広い史跡公園で、手作りのおもちゃ（竹馬、コマ、お手玉等）で遊ぶ	無料
勾玉作り教室（親子と一般）	７月29日（土） 11月25日（土） 午前９時～　午後１時～		なし	事前申し込み不要で、好きな時間に勾玉作りを体験する	有料
夏休みジュニア歴史探険（小４～中学生）	８月４日（金） 午前９時30分～午後３時30分		30名	小中学生を対象に、史跡をめぐる歴史探険などの活動を実施する	有料
歴史教育研修（小中学校教職員対象）	６月13日(火)、22日(木)、27日(火) 午後５時30分～午後７時 ７月26日(水)、８月18日(金) 12月26日(火) 午前９時～12時		応募	館内見学/体験活動実践講習 講義（市内指定文化財） 現地学習など	無料
展示解説講座	開催期間中頃の日曜日 午後２時～		各70名	展示品を解説し、会場を案内する テーマ展・特別展ごとに各１回開催	無料

⑹　利用状況

①　利用者数

年　度	入館者		講座室等利用者		合計
	大人	小中高生	大人	小中高生	
平成24年度	7,196	14,010	7,138	14,681	43,025
平成25年度	7,346	14,230	8,731	15,351	45,658
平成26年度	9,105	14,355	8,309	13,946	45,715
平成27年度	10,148	11,197	9,832	14,682	45,859
平成28年度	12,273	9,327	10,595	13,754	45,949

②　利用状況（平成28年度）

区分	観覧者		講座室利用者		移動講座	合計
	個人	団体	一般	講座・体験		
大　人	7,787	4,486	4,998	4,399	1,198	22,868
中高生	76	184	2,472	8,292	2,990	23,081
小学生	869	8,198				
合　計	8,732	12,868	7,470	12,691	4,188	45,949

③　各種講座参加者数（平成28年度）

講　　座　　名		延回数	参加者数
ふるさとの歴史再発見	考古のコース	５回	213人
	歴史のコース	５回	243人
	民俗・文化史のコース	４回	182人
	古文書のコース	５回	271人
ふれあい歴史体験講座		18回	1,279人
昔のおもちゃで遊ぼう		１回	484人
勾玉作り教室		２回	504人
ジュニア歴史探険		１回	49人
展示解説講座		４回	250人
合　　計		48回	3,475人

④ 企画展入館者数（平成28年度）

名　　　　　称	期　　　間	入館者数
第35回特別展 「ほとけの王国 －大分の仏像－」	10月21日（金）～11月27日（月） （開館日数 32日間）	6,278人
記念講演 「仏教紙芝居－ほとけの世界とその意味－」	11月６日（日）	246人
テーマ展示Ⅰ 「ハレの日の酒」	４月30日（土）～６月26日（日） （開館日数 50日間）	2,349人
テーマ展示Ⅱ 「いにしえの美 館蔵古美術」	７月23日（土）～９月25日（日） （開館日数 54日間）	3,219人
テーマ展示Ⅲ 「THE府内古図 中世豊後府内のまち」	１月28日（土）～４月３日（月） （開館日数 57日間）	4,451人
まちかど歴史展示館	８月17日（水）～29年３月23日（木） 市内12か所に設置	8,316人

(7) 調査研究（平成28年度）

① 平成28年度（第35回）特別展調査

平成28年度の特別展「ほとけの王国 大分の仏像」の予備調査を大分県立歴史博物館、中津市歴史民俗資料館などで行った。

② 平成29年度（第36回）特別展調査

平成29年度の特別展「威信の舞台 よみがえる大友館」の予備調査を徳島県藍住町教育委員会、大阪歴史博物館、山梨県立博物館などで行った。

③ 市内、県内の考古・歴史・民俗資料調査

資料館に寄せられる情報をもとに、資料の収集と記録保存を目的とした調査を随時行った。

(8) 資料収集（平成28年度）

展示・保存・研究のため、寄贈・寄託・購入等の方法で、資料の収集につとめている。平成28年度の主な収集資料は以下のとおりである。

① 購入資料
- 相良晴広書状　１巻
- 古代飾　１巻
- ミャンマー白釉盤　１点

② 寄贈資料
- 海軍兵学校制服など戦争関係資料　４件
- 繭糸の分銅や郷土玩具コレクションなど民俗資料　７件

(9) 刊行物（平成28年度）

① 資料館ニュース NO.112～114

② 平成28年度（第35回）特別展図録･ポスター・チラシ

③ 平成29年度 大分市歴史資料館総合案内

④ 文化財だより2016年度号（歴史資料館特別展特集）

⑤ 史跡公園パンフレット

(10) 利用案内

開館時間　午前９：00～午後５：00
（入館は午後４：30まで）

休 館 日　毎週月曜日（祝日の場合は開館）
ただし、毎月第１月曜日は開館し、翌火曜日が休館（祝日の場合は開館）
祝日の翌日（土・日曜の場合は開館）
年末年始（12月28日～１月４日）

観 覧 料　大　　人　200円（団体150円）
高 校 生　100円（団体50円）
中学生以下　無料
＊団体は20名以上
＊特別展開催中は別料金になることがある

講 座 室　第１講座室　１時間　150円
第２講座室　１時間　100円
＊一室として利用することも可
＊冷暖房を使用する場合は４割増しとする

交通機関
ＪＲ久大本線 豊後国分駅下車 徒歩２分

４　大分市美術館

所在地　大分市大字上野865番地
電話　554－5800
FAX　554－5811

⑴　運営方針

大分市美術館は、緑豊かな上野丘子どものもり公園内に位置し、「たのしんで・みて・まなぶ美術館」として、だれもが気軽に美術を楽しめる場と機会を提供している。年間を通じて所蔵の美術品が鑑賞できるコレクション展（常設展）やさまざまな分野の優れた美術を紹介する特別展の開催、各種講座・講演会の開催など、子どもから大人までが幅広く楽しめる生涯学習施設としての美術館運営をめざしている。

また、特色ある地域の美術文化情報を広く発信するとともに、開かれた美術館として市民との協働による運営を推進する。

⑵　施設の概要

平成11年２月	開館
敷地面積	129,837㎡（公園全体）
建築面積	6,623.51㎡
延床面積	9,085.00㎡
展示室面積	2,097.81㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造・一部鉄骨 鉄筋コンクリート造２階建

⑶　収集方針

①　豊後南画をはじめ、大分市にゆかりのある作家の優れた作品
②　美術史的展望に立ち、近・現代を中心とした芸術的に価値のある内外の作品
③　将来方向として重視される環太平洋地域の美術についての作品
④　歴史的文化遺産として貴重な美術資料

⑷　コレクション展（常設展）（平成29年度）

展示室１～４では、コレクションを中心とした企画により、年間４回（展示室２は６回）の展示を行う。

展示室１　福田平八郎や髙山辰雄など、近代・現代の日本画を中心に紹介する。
展示室２　近世の絵画や田能村竹田、帆足杏雨などの豊後南画等を紹介する。
展示室３　佐藤敬など、近代・現代の洋画等を紹介する。
展示室４　生野祥雲斎の竹工芸作品を中心に紹介する。
展示室１～４　［サマー企画］アート・ワンダーランド2017を開催し、全室共通のテーマのもとに所蔵作品を紹介する。

展示室１

会　　期	展示室１	展示室２	展示室３	展示室４
平成29年 ４月１日(土) ～４月９日(日)	風景画の魅力 岩澤重夫・箱崎睦昌 を中心に	田能村竹田と首藤雨郊	60年代の若き大分の 作家たち	景色を想う
４月11日(火) ～７月９日(日)	京都画壇と大分	魚をめぐる絵画 ～５月28日（日） ５月30日（火）～ 田能村直入	風景を描く	暮らしの中の工芸
７月11日(火) ～９月24日(日)	[サマー企画]　アート・ワンダーランド2017 ぼくも　わたしも　がくげいいん			
９月26日(火) ～30年１月８日(月)	所蔵日本画精選	雪月花 ～11月12日（日） 11月14日（火）～ 中国絵画の楽しみ	静物を描く	紫竹の美
平成30年 １月10日(水) ～４月８日(日)	日本画・版画の人物 表現	松竹梅 ～２月25日（日） ２月27日（火）～ 美人画の魅力	人物を描く	竹の生命

⑸　特別展（平成29年度）

展　覧　会　名	会期・開館日数	内　　　　容
CIAO ！2017 ようこそ上野の森へ	平成29年 ４月14日(金)～ ５月７日(日) 22日間	大分のアートシーンに刺激を与え、魅力のある活動を展開するアーティストたちの絵画、イラストレーション、インスタレーションなどを紹介する展覧会。
生頼範義展	５月13日(土)～ ７月２日(日) 45日間	文化庁映画賞功労賞、日本ＳＦ大賞功績賞、星雲賞アート部門賞などを受賞したイラストレーター生頼範義（1935～2015）のスター・ウォーズシリーズ、平成ゴジラシリーズなどの話題作をはじめとする約220点により、その芸術世界を紹介する展覧会。
ダンボールアート遊園地 大分をあそぼう！	７月11日(火)～ ９月３日(日) 54日間	2012年に大好評を博した、ダンボール王 岡村剛一郎のダンボールアート展の第２弾！今回のテーマはずばり「大分」。わがまち大分の歴史、自然、文化のみどころを、遊べるダンボールアートで表現し会場いっぱいに展開する。家族みんなで楽しめる展覧会。
奇才・ダリ展	９月14日(木)～ 10月29日(日) 41日間	シュルレアリスムを代表する画家サルバドール・ダリ（1904～1989）。本展では、ダリの初期から円熟期、さらには晩年までの版画作品を一堂に公開し、従来の版画そのものの価値観を覆したといわれる20世紀最大の奇才・ダリの版画の魅力を紹介する展覧会。
アートフルロード プロジェクト2017 まちなかGO ！	11月８日(水)～ 12月３日(日) 23日間	市美術館およびまちなかで作品を展示し、様々なアートイベントを実施する展覧会。
第66回高文連 美術・書道・写真 中央展	12月７日(木)～ 12月17日(日) ８日間	大分県内高等学校（公立・私立）で学ぶ生徒たちが制作した作品（美術・書道・写真）を紹介する展覧会。
第69回 大分県立芸術緑丘高等学校 美術制作展	12月19日(火)～ 12月24日(日) ６日間	県内で唯一の美術専門コースである大分県立芸術緑丘高等学校美術科で学ぶ生徒が制作した作品を紹介する展覧会。
アートたけし展	平成30年 １月５日(金)～ ２月12日(月) 35日間	芸人、映画監督、俳優など、マルチな才能を発揮し活躍を続けるビートたけし（1947～）の、絵画と版画約100点による展覧会。子どものようなピュアな視点で描かれた、ユーモアと色彩あふれる作品世界を紹介する。
第52回大分市美術展	２月23日(金)～ ３月25日(日) 28日間	日本画、洋画・版画、彫刻、工芸、デザイン、書、写真の７部門の作品を公募して紹介する展覧会。

⑹　各種講座・講演会（平成29年度）

講演会

講　　座　　名	期 日 ・ 期 間	定　員	内　　　　容
CIAO ！2017　ようこそ上野の森へ	5月3日（水）	80人	アーティストフォーラム

文化・芸術講座

講　　座　　名	期 日 ・ 期 間	定　員	内　　　　容
キャンドルアート「原石キャンドルー宇宙のかけら」	7月1日（土）	15人	アートキャンドルの制作
多肉植物のおうち寄せ	10月21日（土）	20人	多肉植物の寄せ植え
「食べるだけではもったいない！」ーピールアート	12月2日（土）	20人	ピールアートのお話と制作体験
アートカレッジ 「大分市美術館をさらに楽しむ」	6月1日、7月6日、8月3日、9月7日、10月5日 11月2日　全て（第1木）	80人×6回	美術に関する講義と展覧会解説受講

子どものための講座

講　　座　　名	期 日 ・ 期 間	定　員	内　　　　容
ゴールデンウィーク美術教室	4月29日(土)	40人	指でクルクル　チョークでアート！
	4月30日(日)	40人	キラキラ　色水遊び
夏の美術教室	6月10日(土)、11日(日)	40人×2回	不思議な絵の具でシールを作ろう
夏の子ども講座 （12日、計14回）	7月15日(土)、16日(日)	40人×2回	コロコロぴかぴか☆どろだんご
	7月22日(土)、23日(日)	40人×2回×2日	けしごむハンコで作るてぬぐい
	7月29日(土)、30日(日)	40人×2回	ダンボールで遊ぼう！～等身大の自分をつくる～
	8月5日(土)、6日(日)	40人×2回	はりこの犬
	8月19日(土)、20日(日)	40人×2回	木になる粘土で鉛筆づくり
	9月9日(土)、10日(日)	40人×2回	大切な人への贈り物 ～アイロンビーズでコースター～
美術館で紙芝居	8月18日(金)、25日(金)	—	大分の作家の紙芝居上演
秋の美術教室	10月14日（土）	40人	ダリに変身！
冬の美術教室	12月9日（土）	40人	カラフル♡羊毛フェルトソープ
ちびっこ工作ルーム	10～3月第1金曜日	—	未就学児童とその保護者対象のボランティアによる工作教室
美術館出前教室	10月～12月実施	—	市内小中学校における鑑賞教室

市民との協働講座等

講　　座　　名	期 日 ・ 期 間	定　員	内　　　　容
美術館ボランティア研修講座	年6回	97名×6回	美術館で活動しているボランティアの研修
美術館ボランティア養成講座	年6回	20名×6回	美術館で活動する新規ボランティアの研修
美術館で音楽会	11月11日(土)・18日(土)・23日(木・祝)・25日(土)・12月3日(日)	80名×2回×5日	応募者による演奏会
「コレクション展案内」	毎月第2土曜日	—	ボランティアによるコレクション展案内
「第1月曜日は 美術館で楽しもう！」	4月～2月(1、3月除く) の第1月曜日	—	ボランティアによるワークショップ
出張講演	随時	—	外部の市民団体等からの依頼による講演

⑺　美術館ボランティア

概略

美術館ボランティアは、大分市美術館の教育普及活動の諸事業に係わりながら個々の芸術・美術に関する教養を高めると共に、市民文化の発展に寄与することを目的とする。

①　活動

美術関係資料の収集整理、所蔵作品の解説、ワークショップの実施、その他展覧会諸事業への協力など。

ワークショップを行うボランティア

②　研修

大分市美術館美術振興課職員による所蔵作品関連の研修、展覧会レクチャーなど。

⑻　調査研究

①　美術作品等の調査研究

大分ゆかりの作家、日本及び諸外国の近現代芸術、歴史的文化遺産など大分市美術館の収集方針に沿った美術作品及び関連する美術作品、資料等の調査、研究を行う。

②　展示、保存に関する調査研究

特別展、常設展でより効果的に展示する技術、方法や所蔵作品のより安全な保管技術、方法について調査、研究を行う。

③　教育普及活動に関する調査研究

⑼　利用状況（平成28年度）

①　観覧者

総観覧者

区分	常設展	特別展	計
一　　般	人 49,291	人 97,281	人 146,572
高・大生	2,616	4,981	7,597
小・中生	42,741	42,753	85,494
計	94,648	145,015	239,663

特別展観覧者

展覧会名	期　間	観覧者
大分のアートシーンCIAO！“進世代”の胎動	平成28年4月14日～5月8日	人 6,135
画業20周年 片岡鶴太郎展　還暦紅	5月13日～7月3日	29,902
チームラボアイランド 踊る！美術館と、学ぶ！未来の遊園地	7月15日～9月25日	79,645
まちなかアート遊園地	9月30日～10月2日	1,038
ミュシャ展	10月8日～12月4日	16,993
第65回高文連　美術・書道・写真　中央展	12月8日～12月18日	1,878
第68回大分県立芸術緑丘高等学校美術制作展	12月20日～12月25日	1,232
郷土在住作家展Ⅹ 鈴木忠実展	平成29年1月11日～1月29日	1,756
郷土在住作家展Ⅹ 髙木岩義展	2月2日～2月19日	1,960
第51回 大分市美術展	3月3日～3月26日	4,476
計	264日	145,015

②　研修室

利　用　件　数	利　用　者　数
45 件	1,806 人

⑽　利用案内

開館時間　午前10：00～午後６：00（入館は午後５：30まで）

休 館 日　月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日）
※第１月曜日は開館し、翌日の火曜日が休館（ただし、特別展会期中の火曜日は開館します。）
年末年始（12月28日～１月４日）

観 覧 料　コレクション展（常設展）
一　　　般　300円（団体250円）
高・大学生　200円（団体150円）
小・中学生　無料
障がい者（身体障害者手帳等提示）全額減免
※団体は20名以上
特別展
その都度決定（コレクション展（常設展）と共通）

研 修 室　使用料　1時間　　1,080円
※冷暖房を使用する場合は４割増しとする。

■交通機関
バ　　ス　「大分駅上野の森口」乗り場から「大分市美術館」行き約７分。
タクシー　ＪＲ大分駅上野の森口（南口）から約５分。
車　　　　大分自動車道／大分ＩＣから約10分。

「遊星散歩（安藤　泉作）」

５　アートプラザ

所在地　大分市荷揚町３番31号
電話　538－5000
FAX　538－5060

⑴　運営方針

ゆとりと豊かさあふれる生涯学習社会をめざし、新しい文化の創造と発信が積極的に行われる場として、気軽に利用できるよう市民サービスにつとめる。

また、大分市出身の世界的建築家磯崎新氏建築作品の模型や資料の展示を行い、建築理念や思想などを広く紹介する。

⑵　施設の概要

①　沿革

昭和41年（1966）	５月	大分県立大分図書館（磯崎新氏設計）として竣工
昭和42年（1967）		日本建築学会賞受賞
昭和43年（1968）	４月	日本建築年鑑賞受賞
平成６年（1994）	８月	大分県立大分図書館新築移転のため閉館
平成７年（1995）	４月	大分市が無償貸与を受ける
平成10年（1998）	２月	アートプラザ開館
平成19年（2007）	４月	指定管理者制度を導入

②　概要

敷地面積　3,686.7㎡
建築面積　1,599.94㎡
延床面積　4,081.55㎡
構　　造　鉄筋コンクリート造
地下１階地上３階

⑶　指定管理者制度の導入
①　目的
民間事業者の有するノウハウを活用し、市民サービスの向上と行政コストの縮減、及び新たな雇用の創出による地域の振興を図る。
②　指定管理者
アートプラザ共同事業体
③　指定期間
平成28年４月１日～平成31年３月31日

⑷　事業内容
本館の業務は、貸館業務と常設展示業務に分けられる。
①　貸館業務
ア　施設の用途
㋐　アートホール（２Ｆ）
文化・芸術関係団体の展覧会場として、また、各種文化講演会や催事の会場として利用できる。
㋑　ギャラリーＡ・Ｂ（１Ｆ）
主として個人やグループによる絵画・書・写真などの創作活動の発表の場として利用できる。
㋒　研修室（２Ｆ）
芸術・文化に関する会議や研修会や講座などに利用できる。
㋓　実技室（２Ｆ）
比較的大きなプレス機を設置して各種版画ができるように準備している。その他多様な芸術活動にも対応できる。
イ　施設紹介

	面積	展示壁面	天井高	収容人員
アートホール	427㎡	116m	5.14m	250人
ギャラリーＡ	236㎡	78m	2.85m	
ギャラリーＢ	102㎡	46m	2.85m	
研　修　室	79㎡		4.66m	70人
実　技　室	77㎡		4.66m	20人

・ギャラリーＡ・Ｂを同時使用することもできる。
・実技室には1.8m×0.9mの作業台が６台あり、水道も設置している。
②　常設展示業務
ア　磯崎新建築模型展示業務（３Ｆ及び２Ｆ60'sホール）
磯崎新氏が設計した建築物の精密な模型や資料などを、随時展示替えを行いながら常設展示する。
イ　現代美術作品常設展示業務（２Ｆ60'sホール）
1960年代前半に活動した前衛芸術家グループ「ネオ・ダダ」を中心とする現代美術の所蔵作品を、随時展示替えを行いながら常設展示する。
ウ　施設紹介及び展示内容
㋐　磯崎新建築展示室・60'sホール
展示室は、面積12㎡から111㎡の９つの部屋に分かれており、主要建築模型は60'sホールの一部も使用し展示している。

展示室３

60'sホール

(5) 利用案内

① 開館時間

午前９時から午後10時まで（ただし３階磯崎新建築展示室は午後６時まで）

② 開館日

年末年始（12月28日～１月３日）を除く全日

③ 使用料

	4月・5月・10月・11月料金	冷暖房期間中料金
アートホール(427㎡)	１日(9時～22時)9,770円	13,670円
	１時間 1,180円	1,650円
研修室 (79㎡)	１時間 710円	990円
実技室 (77㎡)	１時間 210円	290円
市民ギャラリー(338㎡)	１日(9時～22時)7,710円	10,790円
Ａ室（236㎡）	１日(9時～22時)5,400円	7,560円
Ｂ室（102㎡）	１日(9時～22時)2,310円	3,230円

磯崎 新 建築展示室	観覧無料

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

（網掛け）の部分は冷暖房期間です。

④ 受付方法

・使用日の属する月６ヶ月前から、受付を行う。ただし、芸術・文化活動以外の会議や研修などは３ヶ月前から受付を行う。
また、５日以上連続して行う展覧会については、12ヶ月前から受付を行う。
・受付、空き情報の問い合わせは、年末年始の休館日を除く日の午前９時から午後６時まで。
・電話等による仮押さえは不可。
・使用料は、使用許可の際に納入。

(6) 利用状況

（平成28年度）

項 目	市民ギャラリーＡ	市民ギャラリーＢ	アートホール	実技室	研修室
利用日数	291	333	297	318	307
利用率(%)	81	93	83	89	86